


一般社団法人 ローカルグッド創成支援機構の ご紹介

～Share・Open・DIT～

2017年7月

目的

“ひと”に魅力ある、強い“しごと”を、“ローカル(まち)”に
= ローカルグッド 

実現のための
3つのメソッド

■ Share

重たい物はシェアしましょう
(投資、システム、機能)

■ Open

ブラックボックスは無くしましょう
(失敗・成功、ノウハウの共有)

■ DIT (Do It Together)

共に作り上げましょう
(地域間連携、相互乗り入れ)

仲間(2017年7月現在 16社)

 <p>SUKAGAWA GAS 須賀川瓦斯株式会社</p>	 <p>EBARA</p>	 <p>Japan Asia Group 国際航業株式会社</p>	 <p>JASHA 小水力開発支援協会</p>
<p>須賀川瓦斯株式会社</p>	<p>荏原環境プラント株式会社</p>	<p>国際航業株式会社</p>	<p>一般社団法人 小水力開発支援協会</p>
 <p>中海テレビ放送</p>		<p>HOPE</p>	 <p>東松島市</p>
<p>株式会社 中海テレビ放送</p>	<p>鳥取県 米子市</p>	<p>一般社団法人 東松島みらいとし機構</p>	<p>宮城県 東松島市</p>
 <p>JPBM 中小企業経営のそばにプロの知恵</p>	<p>食大学 Culinary Arts of Academy of Nippon</p>	 <p>Local Energy ローカルエナジー株式会社</p>	<p>子どもたちに誇れるしごとを。 SHIMIZU CORPORATION 清水建設</p>
<p>一般社団法人 日本中小企業経営 支援専門家協会</p>	<p>一般社団法人 食大学</p>	<p>ローカルエナジー 株式会社</p>	<p>清水建設</p>
 <p>快適生活製造業 ONOPROX</p>	 <p>ローカルでんき</p>	 <p>株式会社 まち未来製作所</p>	 <p>Yokohama Water 横浜ウォーター株式会社</p>
<p>株式会社 オノブロックス</p>	<p>ローカルでんき株式会社</p>	<p>株式会社まち未来製作所</p>	<p>横浜ウォーター株式会社</p>

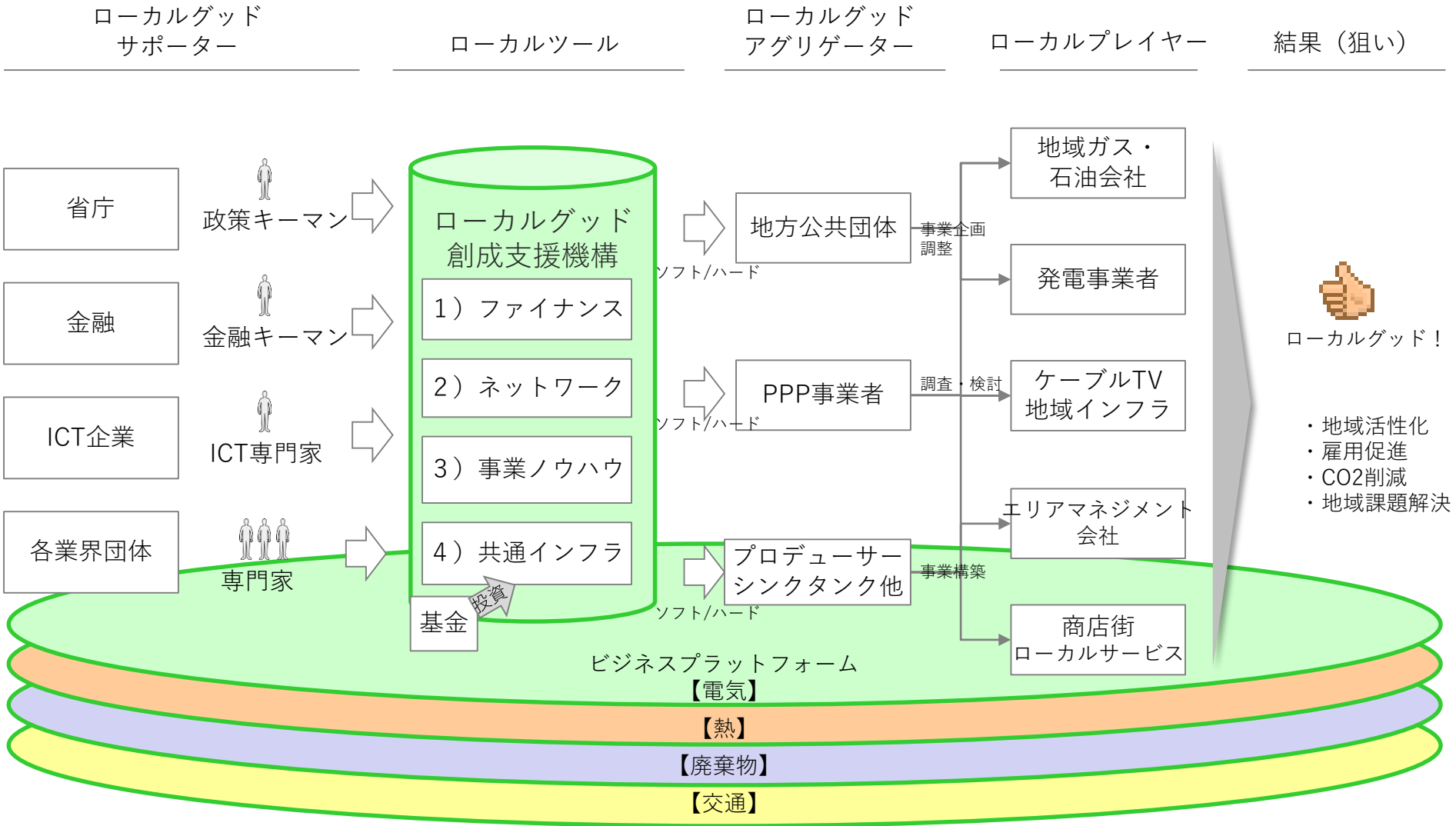
一般社団法人ローカルグッド創成支援機構の概要

2017年7月現在

名称	一般社団法人 ローカルグッド創成支援機構
所在地	〒108-0014 東京都港区芝5丁目26-30 専売ビル6階
設立	平成26年9月3日
設立目的	「地域資源の地産地消」「地域間の取組連携/協調」を推進し、 地域に魅力ある強いビジネスをすることで、地域活性化や地球環境の保全などに資する「地域にいい（Local Good）」取組を支援すること
事業内容	①地域ビジネスの立上推進および運営支援 ②オープンプラットフォームの運営 ③共通インフラの構築、システム、ノウハウの共有
代表理事	大滝 精一(一般社団法人 東松島みらいとし機構 理事長、東北大学大学院経済学研究科教授)
理事	橋本 直子(須賀川瓦斯株式会社 副社長) 加藤 典裕 (株式会社中海テレビ放送 代表取締役、ローカルエナジー株式会社 代表取締役) 市原 昭(荏原環境プラント株式会社 代表取締役社長、株式会社荏原製作所 執行役常務)
監事	中島 大(一般社団法人 小水力開発支援協会 代表理事)
正会員(社員)	須賀川瓦斯株式会社 一般社団法人 東松島みらいとし機構 株式会社中海テレビ放送/ローカルエナジー株式会社 株式会社オノプロックス ローカルでんき株式会社 横浜ウォーター株式会社
賛助会員 (50音順)	東松島市、米子市 荏原環境プラント株式会社、国際航業株式会社、株式会社清水建設、一般社団法人 小水力開発支援協会、 一般社団法人 日本中小企業経営支援専門家協会、一般社団法人 日本食大学、株式会社まち未来製作所

1. ご紹介

「ローカルグッド創成支援機構」の構造



①地域新電力インキュベーションプログラム

地域新電力インキュベーションプログラム

複数の地域新電力が自立・分散・協調するビジネスプラットフォームを作成し、地域に有益な強いビジネスに育成するインキュベーションプログラムを実施します。

■ Share : 重たい物はシェアしましょう

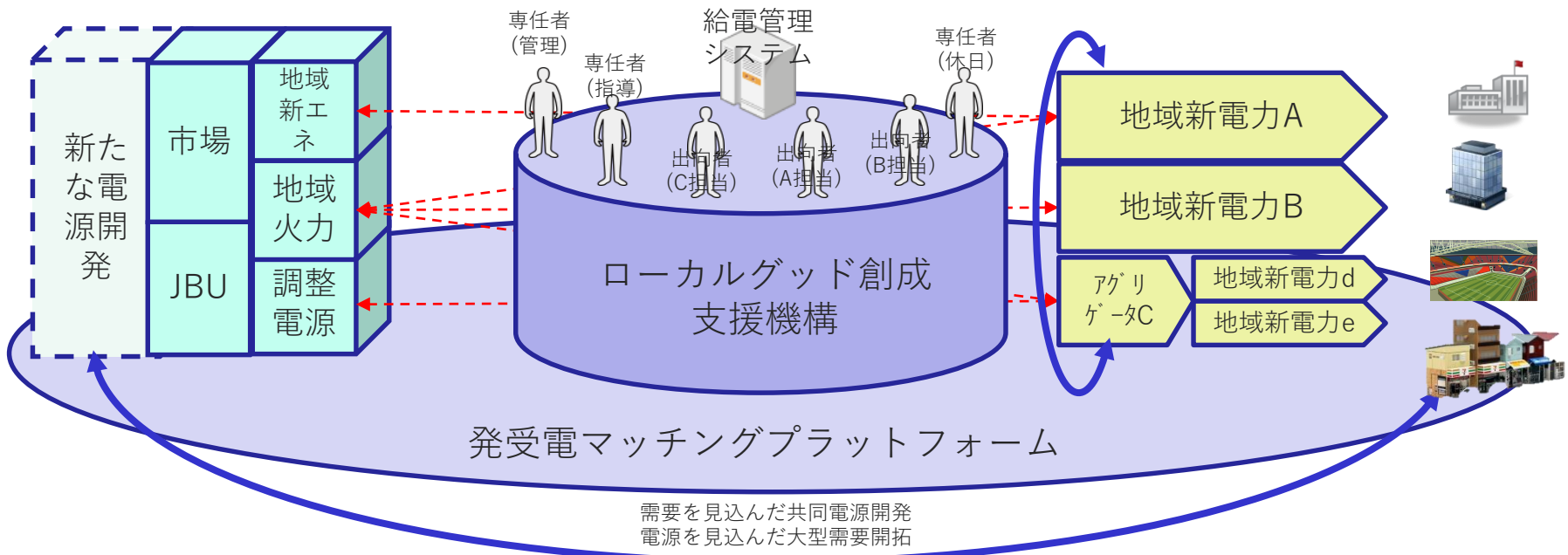
- ①システムのシェア(シュタットベルケシステム)
- ②機能のシェア(コールセンター、発電予測、営業、企画)
- ③電気のシェア(バランシングGr、発電融通、共同開発)

■ Open : ブラックボックスは無くしましょう

- ①ノウハウの提供(エネルギーマネジメントの教育)
- ②公平なバランシンググループ(顔の見える関係)

■ DIT(Do It Together) : 共に作り上げましょう

☆インキュベーションプログラム : 全面受託ではない



①地域新電カインキュベーションプログラム

プログラムの概要

ローカルプレイヤーは地元雇用でビジネスを内製化し、ノウハウを蓄積し、かつ大手同様のコスト競争力を得ることができます。

無料トレーニングとシステム

地域新電力IPの主な機能(2017年4月時点)

①需給管理の無料トレーニング

未経験の地元雇用者に対し、需給管理のトレーニングを実施。ローカルプレイヤーに限定、ノウハウを無料でフルオープン。ノウハウ蓄積、採算性向上、新サービス開発に必須な内製化を支援。

②強力なソリューションを安価にシェア

需給管理システム、CIS、料金計算システム等をシェア。1社で抱えられない強力な専門顧問弁護士やサービスをシェア。

③自社開発のソリューションは他地域にシェア

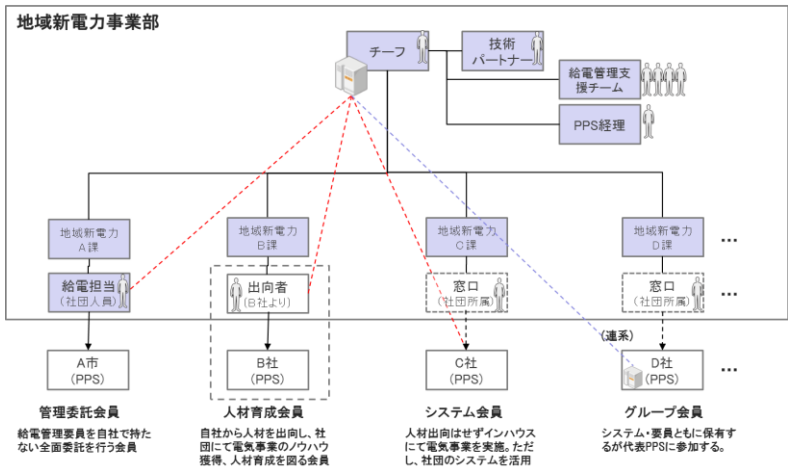
自家利用に開発したソリューションも他地域に水平展開。営業、管理などのコストを大幅にダウンし、投資回収を早める。

④大型ロットの発電所から電力を共同購買

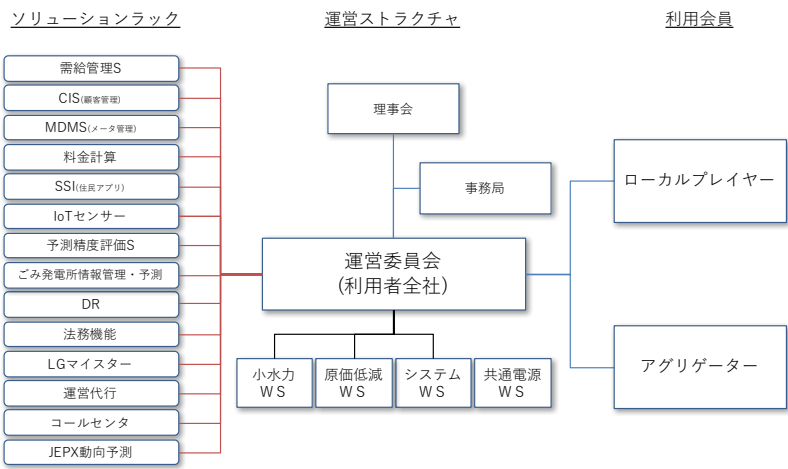
1社では購入しにくい大型ロットの発電を共同購入しシェア。

⑤アグリゲータとLGマイスターによるノウハウ展開

会員の専門コンサルをアグリゲーターとして紹介し、有能なローカル人材はマイスターとしてプロジェクトアサイン可能。



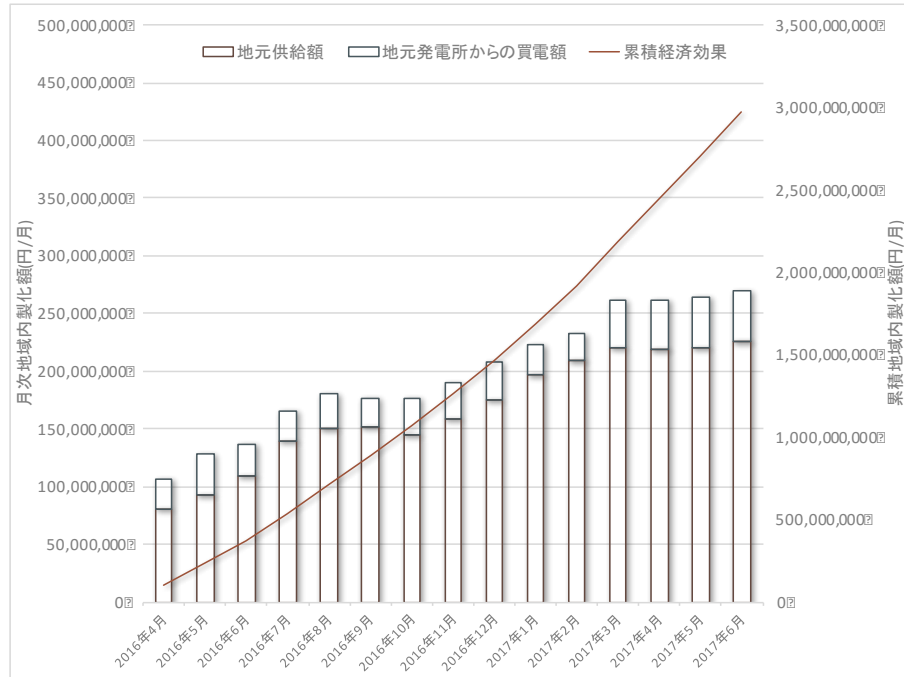
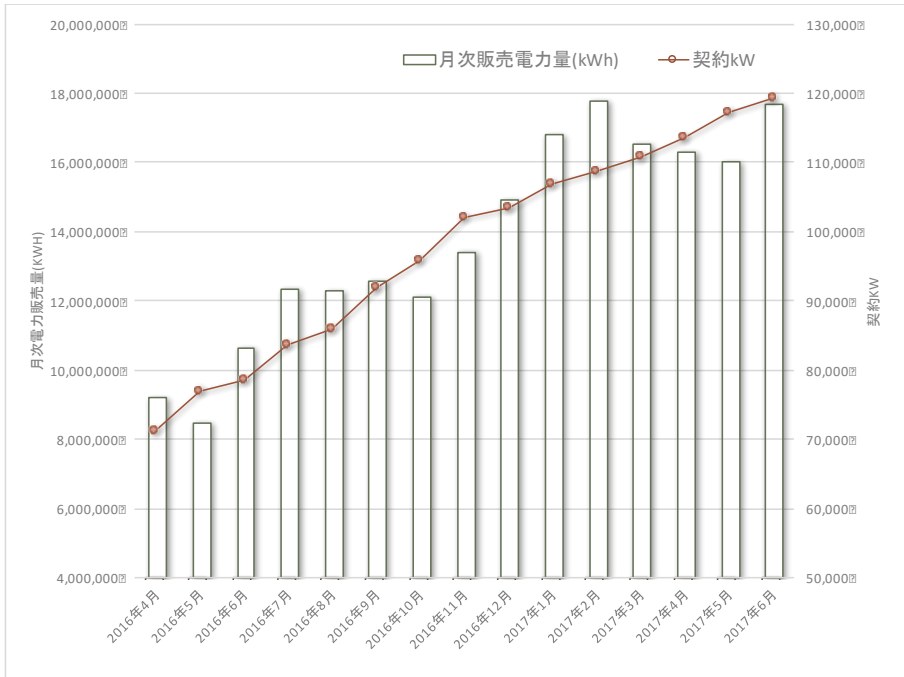
会員向けソリューションラック



①地域新電カインキュベーションプログラム

会員の事業規模(2017年6月時点)

会員による地域エネルギーの地産地消は広がっています。



■ ローカルグッド全体の事業規模(2017年6月時点)

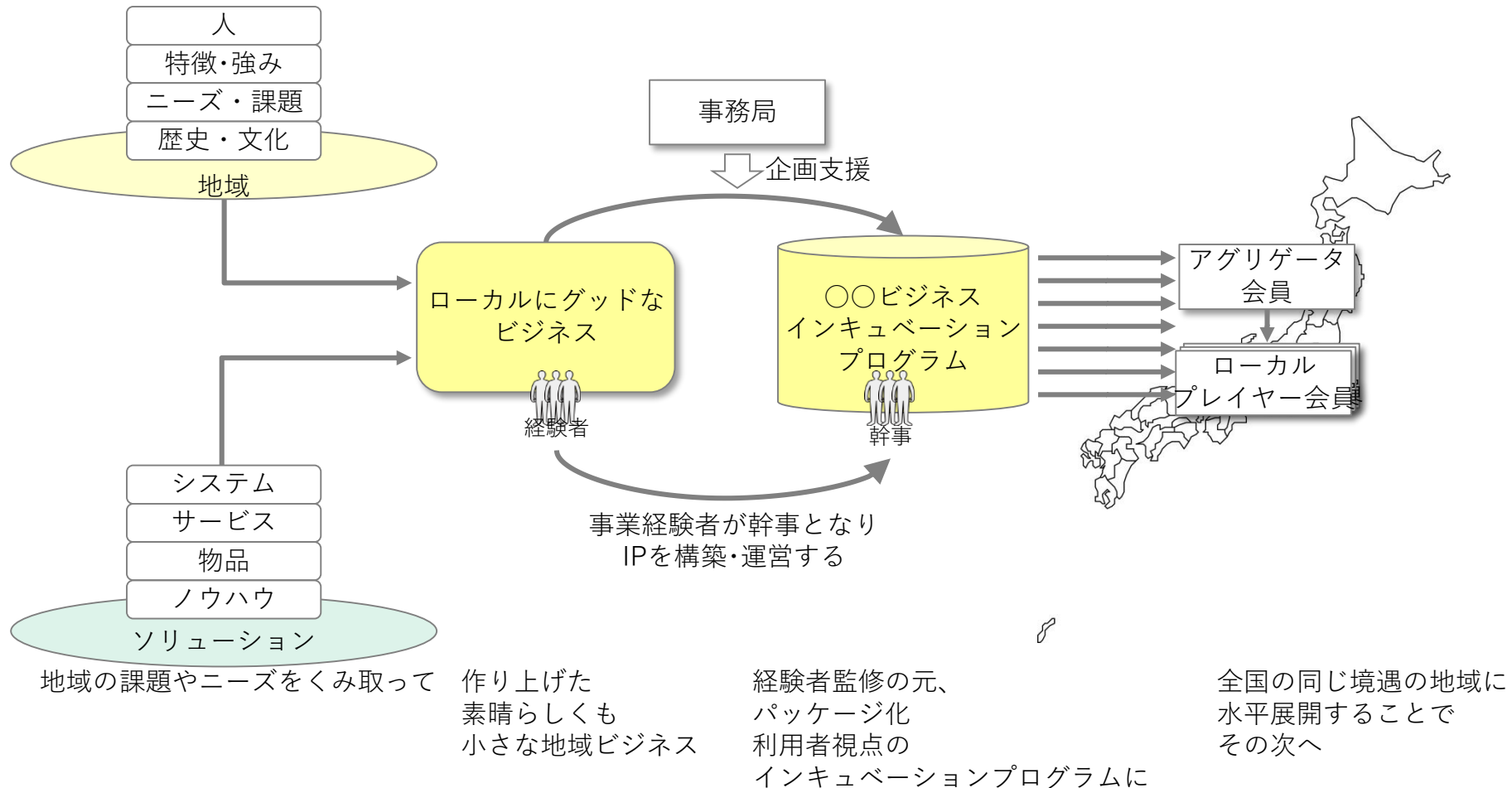
- 契約kW: 120,000kW
- 年間供給量kWh: 約180,000,000kWh(業界50位以内相当)
- 契約数: 約6,500件
- 成長率(同月比): 契約数461%、契約kW152%、販売kWh166%

■ ローカルグッド全体の地域貢献度

- 年間26億円の経済循環(電気供給の内製化、地域発電所からの買取)
- ※ローカルプレイヤー4社の合計

新たなインキュベーションプログラムの構築

ローカルにグッドなビジネスモデルの立上経験者を中心として、他地域での“水平利用”を目的としたインキュベーションプログラム(IP)の構築を行います。



一般社団法人食大学について

ウェブ上で福島の食の情報発信の他に、生産者から消費者までのネットワークづくりと福島県産食材を使用した料理教室、直売イベントなどを実際に運営し、振興と地産地消、販売促進に取り組んでいます。

福島の生産者	繋がる	日本のトッピングシェフ
食べる	食 食BOMMIT	学ぶ
福島のシェフ	楽しむ	福島の農林水産物

2015年3/21(土)
ふくしま食サミット

10:00 開演 17:00 閉演 入場無料
会場 / 郡山ビューホテルアネックス3F 特設会場

みんなで考えるふくしま「食」の未来。多彩で豪華なプレゼンテーションやレストランイベント、食大マルシェも同時開催いたします。

主催 / 一般社団法人食大学 福島県
後援 / 郡山市 日本調理技術専門学校 福島県有社 福島民友新聞社
福島テレビ 福島中央テレビ 福島放送 テレビユー福島
エフエム福島



地産地消のマルシェ開催

有名シェフと連携して農産物の魅力、食文化を発信



トレーラーハウスレストランの開店



料理教室の開催

出典:食大学HPより